

令和5年度 静岡大学人文社会科学部（夜間主コース）
社会人選抜（第2期）試験問題

経済学科

[小論文] (S2K)

令和5年2月19日(日)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）	・・・5枚
解答用紙	・・・3枚
下書用紙	・・・3枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 句読点はそれぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の文章は、水越康介著『応援消費——社会を動かす力』（岩波書店、2022年）の一部である。この文章を読み、問1～問3に答えなさい。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

(出典) 水越康介著『応援消費——社会を動かす力』(岩波書店，2022年，43～49頁)。ただし，本文は縦書きを横書きとし，原文にあった小見出し等を省いた。また，一部の漢数字

を算用数字に置き換え、常用漢字以外にはルビを振り、原文にはない（注1）～（注4）を追加した。

（注1）フィランソロピー：社会貢献活動や慈善活動のこと。

（注2）CSR（Corporate Social Responsibility）：企業の社会的責任のこと。

（注3）メセナ：企業が芸術文化活動を支援すること。

（注4）SDGs（Sustainable Development Goals）：持続可能な開発目標。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。

問1 下線部①について、なぜ陰徳と寄付文化の関係は複雑なのか。本文に即して300字以内で述べなさい。（配点35%）

問2 下線部②について、贈与のパラドックスとは具体的にはどのようなことか。本文に即して200字以内で述べなさい。（配点25%）

問3 あなたは寄付や贈与を公言すべきだと思うか、それとも公言すべきでないと思うか。本文を参考に、あなた自身の立場を明確にした上で、その理由を400字以内で述べなさい。（配点40%）

採点・評価基準 (具体的基準)

教科・科目名	小論文 (S2K)
実施学部・学科等	人文社会科学部 経済学科 夜間主コース
出題のねらい	<p>問1 出題文の内容をしっかりと理解し,的確に要約する力を問う問題である。</p> <p>問2 問1と同様,出題文の内容をしっかりと理解し,的確に要約する力を問う問題である。</p> <p>問3 論理的思考力および思考の結果を整理する力を有しているかを問う問題である。</p>
採点基準	<p>問1 配点 35%</p> <p>①寄付についての「陰徳ではなく陽徳が必要である」という主張そのものが,実は陰徳が寄付を抑制する要因となっている事実を浮き彫りにしているということが理解できているか。</p> <p>②出題文に対して,本文の内容を踏まえて,論じられているか。</p> <p>問2 配点 25%</p> <p>①贈与のパラドックスが「寄付の公言の見返りとして名誉や名声が得られ,さらには名誉や名声欲しさに寄付を行ったと思われること」であることを理解できているか。</p> <p>②出題文に対して,本文の内容を踏まえて,論じられているか。</p> <p>問3 配点 40%</p> <p>①「公言すべき」「公言すべきでない」のどちらの立場であることを明確に示しているか。</p> <p>②①の立場に立った理由を論理の破綻なく明快に説明できているか。</p>